

甚小だより



あま市立甚目寺小学校
13号
平成24年10月31日

児童用コンピュータ本格運用

学校のコンピュータが新しくなりました。ソフトの内容も充実していて、子どもたちにとって、調べることができる範囲が広くなりました。検索コンテンツが、「キッズG00」「yahooきっず」「ブリタニカ国際大百科事典スクールエディション」がインストールされています。もちろん、校内ランに組み込まれていますので、ラン内のメールのやりとりができます。今後、児童のプレゼン力を高めるためにも、コンピュータの活用は不可欠です。その成果は、11月の生活科・甚小タイム発表会の場で、実を結ぶだろうと思っています。



新しいコンピュータで検索方法を学ぶ

他国の生活を知り、日本のよさを再発見！



シンを着用した6年担任

夏休み中に、短期派遣で「ラオス」で研修を積んできた、中西先生より「国際理解教育」の授業実践が、10月16日（火）5・6時限を使い、6年生対象に行われました。子どもたちに「ラオス」という国を意識させるために、地理的な知識や気候の知識を紹介しました。その上で、生活環境（衣食住）の紹介から、「ラオスってどんな国？」の疑問を少しずつ紐解いていきました。たとえば、女性の衣装は、綿や絹でおられた「シン」というスカートを着用していること、ラオス人の主食は、もち米であることや弁当箱が特徴的であること、学校は黒板があるだけで子どもたちは鉛筆1本を大切にしていることなどが紹介され、日本の恵まれた生活を考えるよい機会となりました。最後に、「国としては課題が山積しているようであるが、『子どもたちの笑顔』が素敵であり、これからの将来は明るい国と感じた」という感想で、授業が終わりました。



ペタンク(球技)

ラオスの弁当箱

ラオス口琴(ケーン)

セパタクロー(藤球)

ユネスコスクールの取り組みは着実に・・・

ユネスコスクールの申請書は、日本ユネスコ協会（東京）からパリの本部へ送付されたというメールが先日届きました。加盟は時間の問題として、学校の取り組みが申請に値するかという心配はありました。しかし、今年の各学年の取り組みは、一歩前進したように感じます。3年の取り組みは「われら ふくし じっせんたい」とテーマを設定して「高齢者や障がいのある人たちにやさしい町づくり」について学習してきました。



法被は運動会使用のもの 浴衣は自前 (3-1)



一人一人に声をかける (3-2)

質問報告は、甚小タイム発表会においてお知らせします。ぜひお出かけください。発表会は、11月16日（金）午前日程です。



楽しい雰囲気を創り出す (3-3)